

# 褥瘡だより 37号

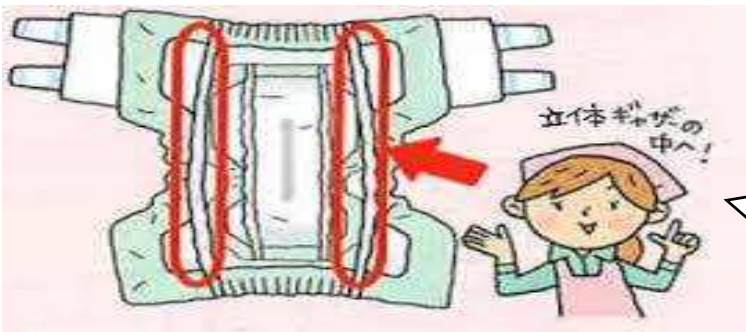
2020年10月発行 ふくの若葉病院 褥瘡対策委員会

## ～おむつがまねく褥瘡の危険～

当院には、多くの患者様が24時間おむつを使用して生活されています。  
今回、おむつの当て方で褥瘡の原因となる問題を取り上げます。

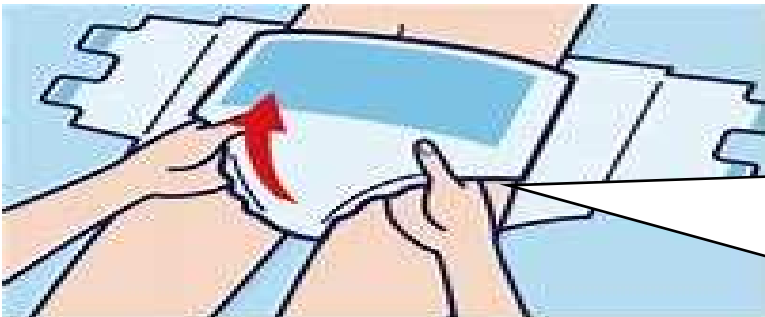
## おむつのつけ方ポイント！

### 1. パッドがきちんとおむつのギャザーに入っていますか？



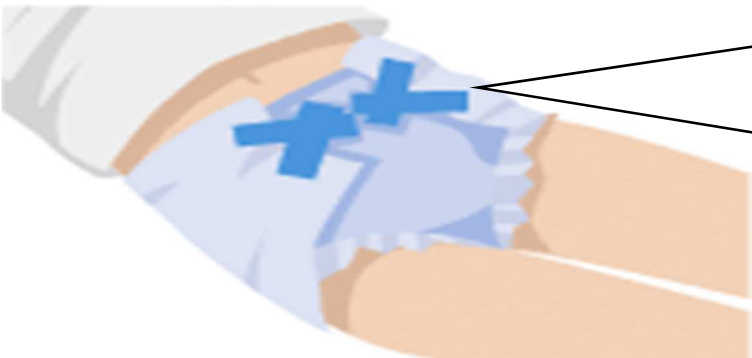
ギャザーからパッドがはみでると汚染に繋がる原因になります。

### 2. 鼠径部にギャザーはフィットしていますか？



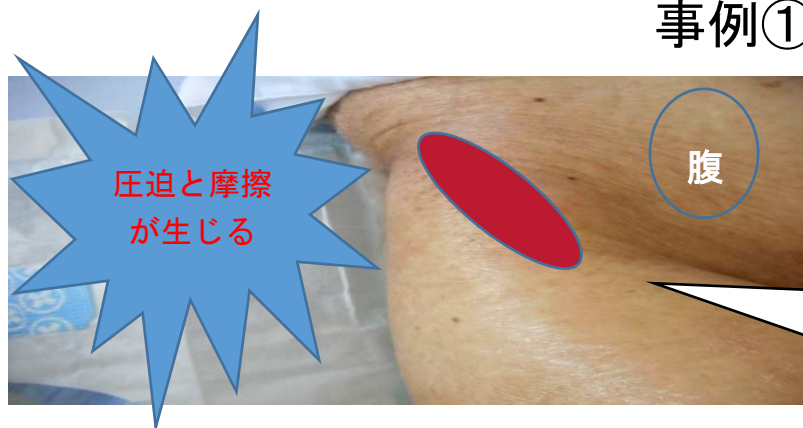
きつすぎず、ゆるすぎずの装着感にします。おむつカバーのギャザーを持ち、鼠径部に添わせるように当てます。指が1本入るくらいが目安です！

### 3. テープのクロス止めはできていますか？



下側のテープを斜め上へ向けて止め、上のテープを斜め下に向けて、腸骨を中心にして止めると、脚まわり・おなかまわりのフィット性が高まります

## 事例①



- テープ止めの絞めすぎ
- おむつのサイズが小さい

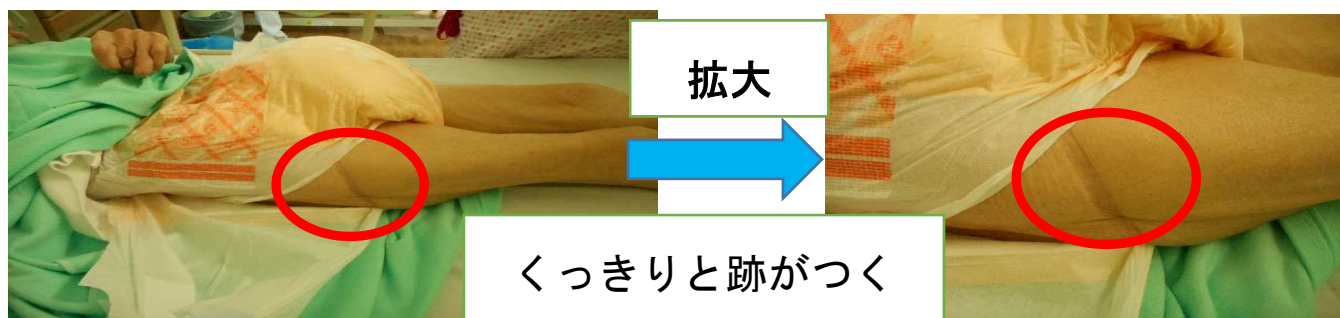


**腸骨に発赤が発生**

## 事例②



- 患者の体に対してオムツが大きすぎる
- クロス止がきつすぎる
- テープ止めが皮膚にくい込んだ状態



排泄物が漏れないようにとテープ止めを絞めすぎると、圧迫により

腸骨に発赤やピランを発生させてしまいます…防止するには！？

👉ポイント👉腸骨と腸骨の長さが長いほどサイズ大きめ、  
短いほどサイズ小さめ

④浮腫が出現したり、痩せてきたなど体型は変化するため、

**おむつのサイズを変更していく必要があります！**

オムツのことで質問などあれば古田まで声をかけてください